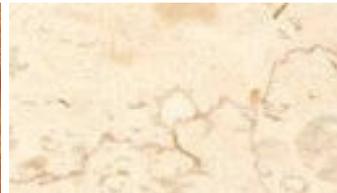


オークスカナルパークホテルの大理石

オークスカナルパークホテル富山一階フロアーには、3種類の大理石が使われています。一番大きな面積を占めているのがロッソマニアボスキ（イタリア産）で、廻り縁部分に使われているのはシェルページュ（イラン産）、床に部分的にアクセントとして使われているのがドラマ（チック）ホワイト（ギリシャ産）です。ロッソマニアボスキの中にはウニ類や頭足綱のゴニアタイト型の化石がはっきり見えていました。また、シェルページュの中にもゴニアタイト型の化石がいくつかあります。ドラマ（チック）ホワイトは、富山国際会議場市民プラザに使われているタソスホワイトのように方解石化が進み、グラニュー糖のような方解石の粒が見えます。



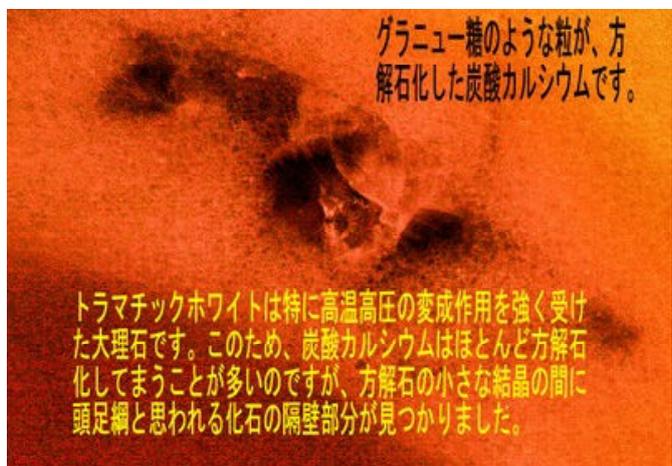
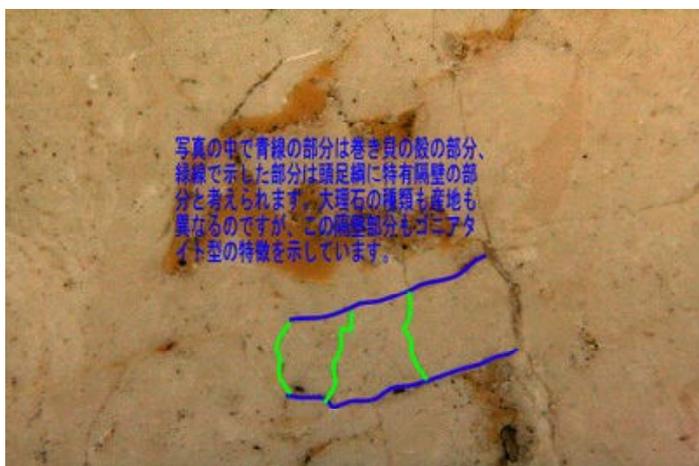
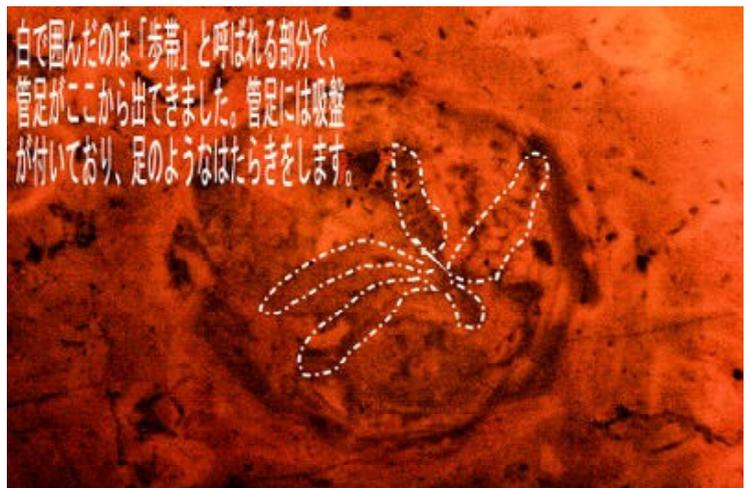
ロッソマニアボスキ



シェルページュ



ドラマ（チック）ホワイト



※この映像資料は、オークスカナルパークホテル富山の許可を受けて撮影し掲載したものです。